

所信声明

人道危機における助産師の役割

The Role of Midwives in Humanitarian Crises

背景

自然災害、気候変動、パンデミック、人為的な紛争によって引き起こされる人道危機（1）が飛躍的に増加しており、私たちの世界はこうした事態に対処している。これらの要素がどのように相互作用するかは、ますます予測不能になっている（2）。2024 年には、世界で2億9940万人が何らかの人道的支援を必要としていると推定される（3）。人道危機が生じると、女性や少女は特に脆弱な立場に置かれ、性的暴力やジェンダーに基づく暴力（結果として妊娠する可能性がある）、若年での強制結婚、生計手段の喪失、教育へのアクセスの制限、性と生殖に関する健康の悪化といった影響を特に受けやすい。

緊急時や緊急事態が生じた後に、命を救い、苦しみを予防し軽減することは非常に大きな課題であり、準備と実践能力が必要とされる。助産師のなかでも、とりわけ地域に根ざした活動をしている助産師は、あらゆる種類の緊急事態に予期して備え、対応することが重要となる。地域において活動し、地域社会と密接に関わる助産師は、人々の行動や女性・子どもたちの経験を深く理解しており、性と生殖・妊産婦・新生児・思春期の健康（Sexual, Reproductive, Maternal, Newborn, and Adolescent health; SRMNAH）に関する質の高いサービスの提供を確保する上で、何が必要かを的確に判断することができる。

しかしながら、地域・国・国際レベルでの緊急時対策や対応計画を策定する際に、通常、助産師は参加していない。

世界保健機関（World Health Organization: WHO）が、妊産婦・新生児・小児の保健を、多数の被災者への緊急対応に次ぐ優先事項として捉えていることを受け（4）、ICM とその会員団体は、被害の軽減・緊急事態への備え・迅速な対応・復旧に助産師が参加し、その役割を担うようにすることが適切である。

助産師個人のみならず、助産師協会（midwives' associations; MAs）も、緊急事態の予測計画と対応において重要な役割を果たす。MAs は、サービスにアクセスできない複雑な緊急対応時に、女性や多様なジェンダーの人々のためにより良い医療サービスが提供されるよう擁護する。MAs は危機的状況において、性と生殖・妊産婦・新生児・思春期の健康（sexual, reproductive, maternal, newborn, and adolescent health: SRMNAH）のニーズが満たされることを擁護し、保証する重要な役割を担っている（5）。また、SRMNAH のケアが緊急時対応の一部となるよう、助産師が活動の主軸を調整して対応できるよう擁護し、組織を支援することができる。

所信

いかなる人道危機においても、SRMNAH サービスを提供するためのすべての緊急対策計画の一部として助産師を組み入れることが不可欠である。ICM は、政府や人道機関に対し、緊急時対策と対応計画の策定に助産師を参加させ、多職種対応チームの一員として助産師を配置させるよう要請する。

会員団体への推奨

人道危機計画に関して、ICM は MAs に対し、以下を行うよう要請する。

- 担当地域で発生する可能性の高い緊急事態に関するリスク評価を習熟させ、それぞれの準備と対応において、その可能性と助産師の役割について会員に認識させる。
- 組織や政府との緊急時対策の推進、国や地域の対応計画の策定、助産師や SRMNAH のニーズを含む緊急時の資金調達に貢献する。
- 緊急時対策と対応における助産師の役割に関するトピックを、事前教育と継続教育プログラムに組み入れ、確かな知識ベース、技能開発および実践の倫理的枠組みを確実なものにする。
- 多職種での緊急対応における助産師のための実践的な研修を計画する。

- 緊急時の計画および対応に関する助産ガイドラインを作成する。
- より良い調整を確実にするために、災害対策および人道対応に従事する関係者とのネットワークおよびパートナーシップを構築し、維持する。

人道的危機対応に関して、ICMはMASに対し、以下を行うよう要請する。

- 短期的には、脆弱なグループに特に注意を払いながら、緊急時に助産師ケアおよびSRMNAHサービスに必要な資源を動員する取り組みを支援する。
- 助産師、クラスターリード（人道的支援における各専門分野の取りまとめ役）、および政府と協力し、それぞれの状況下で、危機的状況における性と生殖に関する健康のための基本的な初期サービス（Minimum Initial Service Package: MISP）を実施する。
- 助産師と地域、政府、NGO、国際機関、メディアおよびその他の利害関係者との良好な連携と協力体制を築き、状況に応じて、地域の最善の利益が優先され、可能な限り達成されるようにする。
- 助産師や直接的なサービスを提供するその他の人々のメンタルヘルス上のニーズを認識し対応することで、彼らのケアをする。
- 助産師には、母乳育児や安全な乳幼児の食料摂取を支援するなど、包括的なSRMNAHサービスを継続して提供することを奨励する。

関連 ICM 文書

- ICM.2024. 所信声明 人道的状況における女性、小児および助産師の人権
- ICM.2024. 所信声明 気候変動
- ICM.2024. 所信声明 移民・難民の女性とその家族
- ICM.2024. 方針概要 助産師協会への投資
- ICM.2014. 基本文書 助産師の倫理綱領

その他の関連文書

- WHO.2017. A strategic framework for emergency preparedness. <https://iris.who.int/bitstream/handle/10665/254883/9789241511827-eng.pdf?sequence=1> から入手可能。
- WHO.2020. Quality of care in humanitarian settings. https://cdn.who.int/media/docs/default-source/quality-of-care/quality-of-care-in-humanitarian-settings-june-2020.pdf?sfvrsn=db78f8d4_1&download=true から入手可能。
- IAWG.2018. Inter-Agency Field Manual on Reproductive Health in humanitarian Settings. <https://iawgfieldmanual.com> から入手可能。
- Maternal Mortality in Humanitarian Crises and Fragile Settings (United Nations Population Fund, November 2015). <https://www.unfpa.org/resources/maternal-mortality-humanitarian-crises-and-fragile-settings> から入手可能。

参考文献

- (1) OCHA.2023. OCHA's strategic plan 2023-2026: transforming humanitarian coordination. <https://www.unocha.org/publications/report/world/ochas-strategic-plan-2023-2026-transforming-humanitarian-coordination> から入手可能。
- (2) OCHA.2023. OCHA's strategic plan 2023-2026: transforming humanitarian coordination. <https://www.unocha.org/publications/report/world/ochas-strategic-plan-2023-2026-transforming-humanitarian-coordination> から入手可能。
- (3) IRC.2024. Emergency Watchlist. https://www.rescue.org/sites/default/files/2024-01/CS2401_Report_Watchlist_Final_30MB.pdf から入手可能。
- (4) WHO.2006. Risk reduction and emergency preparedness: WHO six-year strategy for the health sector and community capacity development
- (5) ICM.2024. Policy Brief on Investing in Midwives' Associations.

2014 年、プラハ国際評議会にて採択

2017 年、トロント国際評議会にて見直し・採択

2024 年、オンライン国際評議会にて見直し・採択

次回の見直し予定：2027 年

「The Role of Midwives in Humanitarian Crises」の原文については、ICMが著作権を有します。日本語版は、ICM会員団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会が、ICMの許諾を得て翻訳しました。日本語版については、日本助産学会に帰属します。なお、ICMも同様の権利を持ちます。日本語版の転載については、ICMならびに日本助産学会<https://www.jyosan.jp/>にご連絡ください。なお、学術目的で日本語版を利用する場合は、出典を明記して、自由に引用することができます。